

For the public

Apple 創業者 スティーブ・ジョブズに学ぶ

一瞬一瞬の生を最大限に発揮しよう



Stay hungry

Stay foolish



アップルの共同創業者の1人であり、同社のCEOを務めたスティーブ・ジョブズは、アメリカで文民に贈られる最高位の勲章である大統領自由勲章と、技術分野で最高の名誉とされるアメリカ国家技術賞を受賞しました。iPodとiTunes及びiTunes Storeによって音楽業界に変革をもたらし、iPhone及びiPadの開発者として世界中で知られています。

ジョブズは仏教徒であり、妻ロリーンとの結婚式も敬愛する僧のもと仏教式で行いました。若い頃から禅に帰依し、しばしばスピーチなどで禅の教えを引用しています。ジョブズは次々と画期的な製品を世に送り出しましたが、それらには禅の影響が見てとれます。最も顕著な例は、iPhoneのデザインです。極端なまでに徹底的に無駄を省いたアップルの製品群は、シンプルで美しく、iPhoneの登場で携帯電話のデザインは一変しました。

ジョブズは、母校スタンフォード大学での講演で、「Stay hungry, stay foolish」と話しました。これは中国の洞山良价(とうざんりょうかい)禅師の「愚の如く、魯(ろ)の如く、よく相續するを主中の主と名づく」という言葉の引用です。愚(おろかも)や魯(でくのぼう)と思われるかもしれませんが、続けていくことが大切である。一見地味なことの積み重ねが大きな結果を生むという禅の言葉です。

手を抜こうと思えば抜ける、抜いたって、もしかしたら誰も気づかないかもしれない。誰も見ていない所で、誰にも見られない所で、それでも変わらずに努力を重ねることができるでしょうか。人の真価はそういう所に現れるのかもしれませんが。コツコツと1つのことを続ける人が最も強い、そして形ある物は必ず滅びる、だからこそ、命ある間にたゆまず精進し、一瞬一瞬の生を最大限に発揮しようということです。

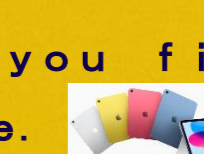
ジョブズのビジネスマインドから、表裏共に愚直なまでに、平等に丁寧に行うことが、平凡な様でいて、最も地に足の着いた生き方だと思います。

令和5年5月1日

For parents

Apple 創業者 スティーブ・ジョブズに学ぶ

大切なのは本当に好きなことを見つけること



So keep looking until you find it.

Don't settle.

アップルの共同創業者の1人であり、同社のCEOを務めたスティーブ・ジョブズは、アメリカで文民に贈られる最高位の勲章である大統領自由勲章と、技術分野で最高の名誉とされるアメリカ国家技術賞を受賞しました。iPodとiTunes及びiTunes Storeによって音楽業界に変革をもたらし、iPhone及びiPadの開発者として世界中で知られています。

ジョブズは仏教徒であり、妻ロリーンとの結婚式も敬愛する僧のもと仏教式で行いました。若い頃から禅に帰依し、しばしばスピーチなどで禅の教えを引用しています。ジョブズは次々と画期的な製品を世に送り出しましたが、それらには禅の影響が見てとれます。最も顕著な例は、iPhoneのデザインです。極端なまでに徹底的に無駄を省いたアップルの製品群は、シンプルで美しく、iPhoneの登場で携帯電話のデザインは一変しました。

56歳の若さでこの世を去ったIT界のカリスマ、スティーブ・ジョブズには、パソコンで世界を変えるという夢がありました。お金も人脈もなかった若き日のジョブズは、夢を実現する為にどう行動したのでしょうか。自宅のガレージでアップルを創業し、何度もつらい目に遭いながら、失敗や不運にめげず必ず立ち上がり、夢のような製品で世界の人々の生活を変えたのです。ジョブズは、強い信念と情熱にあふれた人でした。

「一つのことを一生やり続けられると確信する日が来る」これはジョブズの言葉です。一つのことをやり続けよう…ではないところがポイントです。この言葉が伝えているのは、やり続けられると確信できるものを探し続けようということです。まだやりたいことが見つからないという人に贈る言葉としてお勧めです。子供が自分の人生に生きる力をどう身につけるか、「大切なのは本当に好きなことを見つけること」は、子供の心にも響く名言です。

ジョブズのクリエイティビティから、子供達が夢を叶えるヒントを学び、一日一日を大切に保育にあたりたいと思います。

花園保育園 (K)